

議会 Assembly

福智町議会議長

小松 春義



新年明けましておめでとございます。皆様方におかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年、新生「福智町」が発足し、町民の皆様には、期待と希望を抱かれたとともに、発足当初ということもあり、戸惑いや不安もお持ちになったのではないかと拝察いたします。新しい年を迎え、今年は福智町の今後のあり方が、より具体的に見えてくるのではないかと思っております。

福智町は、合併を果たしたとはいえ、依然として厳しい財政状況に変わりはありません。国政での財源不足による地方自治体への転嫁は、顕著になっています。このため、福智町に限らず、地方自治体の財政運営はますます予断を許さない状況であり、たとえ基金の取崩しで一時的を凌いだとしても、3年後から5年後には予算が組めない状況に陥る団体が増加してくるような状態です。

こうした厳しい財政状況を踏まえ、いま福智町では、「行財政改革」に向けての取り組みを議会と行政の両輪で実施しているところでございます。今後、議会ではさらに、町民の皆様から納めていただいた税金や使用料などが、費用対効果などを含めて、最大限に有効活用されるよう見極めていく所存でございます。

また、環境破壊や安全問題をはじめ、食糧、経済問題など、解決しなければならぬ国際的課題も多々あります。国内では、競争社会や市場経済優先社会の中で、少子化問題やいじめによる自殺の問題など、現代社会がもたらした弊害の中で、生命の尊厳が奪われているという状況もあります。このような中、人が人として尊重され、互いを認め合うまちづくりが、福智町として歩むべき第一歩だと思います。議会といたしましては、町政発展のため、皆様方の声を行政に反映させるべく、鋭意努力してまいります。

平成19年が、皆様と福智町のよりよいまちづくりの一步となることを祈念し、議会を代表してのごあいさつといたします。

行政 Administration

福智町長

浦田 弘二



新年明けましておめでとございます。どなたも、新たなお気持ちで新年をお迎えのことと存じます。わたくしも、昨年4月2日に当選させていただきました。翌日から職務についておりますが、あつという間に9か月が過ぎてしまいました。この間、タウンミーティングや各集会、そしていろんな行事を通して、まちづくりの考えや方向性をお伝えし、ご理解とご協力をお願いしてまいりました。そうする中で、解決を急がなければならない課題や合併以前の協議で想定された問題以外のことも生じ、その対応に全神経を注いでいるところです。

とりわけ、税等の不納欠損処理や滞納問題では、町民のみならずの町政に対する信頼を損ねることになり、重ねておわびを申し上げたいと思います。福智町誕生直後の大切な時期でもあり、新町の上昇気運に水をさす形となってしまったことを、行政遂行の責任者として深く反省いたしております。再び繰り返すことのないよう、全職員一丸となって努めてまいります。

ところで、喫緊の課題であります行財政改善を進めるために、昨年7月に行財政改革推進委員会を立ち上げ、この1月末に最終答申をいただくようにしています。また、行政内部でもプロジェクトチームを組んで検討を重ねており、具体的な実行策ができましたら、なるべく早い時期に広報紙等を通してご報告したいと思っております。

平成19年度から、財政の建て直し作業を本格的に進めてまいります。町民のみならずのご理解とお力添えなしでは、一歩も前進することはできません。どうか、希望ある未来の福智町づくりのため、寛容なお気持ちでご協力を賜りたいと存じます。もちろん、町政の中心に据えています教育や観光によるまちづくりの更なる推進と、福祉や農業施策の充実に向けても、全力を傾注してまいりたいと思っております。

末筆ではございますが、みなさまにとりまして、本年が良い年でありますよう、心からご祈念申し上げます。新年のごあいさつとさせていただきますと思います。